

沿 革

本シンポジウムは、障害者や高齢者のエアロビックの指導法研究と指導者間のネットワークづくりを趣旨とし開催しています。

2000年より神奈川県エアロビック連盟が主催し、2019年からは全国アダプテッドエアロビック協議会が主催となり、下記の内容で開催いたしました。

回数	日付	テーマ
第1回	2000年 2月27日	アダプテッドエアロビックよこはま2000 (シンポジウム・チームチャレンジを同日開催) ◆テーマ：障害者スポーツを考える
第2回	2001年 1月14日	アダプテッドエアロビックよこはま2001 シンポジウム ◆テーマ：障害者の心のケア
第3回	2002年 2月11日	アダプテッドエアロビックよこはま2002 シンポジウム ◆テーマ：障害を持つ人のエアロビック参加意識 ～本人の気持ち～
第4回	2003年 2月16日	アダプテッドエアロビックよこはま2003 シンポジウム ◆テーマ：社会に順応できない人達 ～見えていない障がい・知らなかった障害～
第5回	2004年 2月11日	アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま2004 シンポジウム ◆テーマ：想いあう心・ささえあう心
第6回	2005年 2月20日	アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま2005 シンポジウム ◆テーマ：体力づくり・仲間づくり ～就労をめざして/日常生活における指導～
第7回	2006年 2月5日	アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま2006 シンポジウム ◆テーマ：アダプテッドエアロビック実技指導法 ～すぐに役立つ、種別に対応した指導法～
第8回	2007年 2月4日	アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま2007 シンポジウム ◆テーマ：知的障害者と視覚障害者へのエアロビック指導法の取り組み ～チャレンジすることの楽しさを知る～
第9回	2008年 2月10日	アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま2008 シンポジウム ◆テーマ：介護予防の観点から見た老化に対するアダプテッドエアロビック ～2007年度アダプテッドエアロビック研究会活動報告と今後の高齢社会への貢献に向けて～
第10回	2009年	アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま2009 シンポジウム

	2月11日	◆テーマ：開催第10回記念知的障害者のエアロビック技能検定合格への道
第11回	2010年 2月11日	アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま2010 シンポジウム ◆テーマ：自閉症者とのかかわり方と生涯スポーツ支援 ～自閉症者が学校卒業後もスポーツ活動（エアロビックなど）に参加できる社会の実現を目指して～
第12回	2011年 2月19日	アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま2011 シンポジウム ◆テーマ：「解剖学からみた運動機能」 高齢者向けプログラムについて～日々の指導活用できるエアロビックプログラム～ 第1部 ・解剖学からみた運動機能 神奈川県立保健福祉大学 人間総合・専門基礎 柴田 昌和 ・高齢者向けプログラム「トラビック」紹介と実技体験 第2部 新プログラム紹介と実技体験 視覚障害者と知的障害者の指導プログラム 「レッツ！アダプテッドエアロビック」の紹介
第13回	2012年 2月19日	アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま2012 シンポジウム ◆テーマ：第1部「スポーツ基本法から考える アダプテッドエアロビック」 中央大学保健体育研究所 客員研究員 田中暢子 第2部「片麻痺のある方へのエアロビック指導の活用法」 ～運動機能障害・麻痺の原因と留意点を中心に～東健太郎 実技：障害者エアロビック 動きの解説と応用方法 独立行政法人福祉医療機構助成事業 DVD&CD「レッツ！アダプテッドエアロビック」 内容を活用
第14回	2012年 12月9日	アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま シンポジウム ◆テーマ：アスペルガー症候群の方への指導法（知的な障害のある自閉症児者への指導法含む） ・アスペルガー症候群とは？ 山梨県立こころの発達総合支援センター所長 本田 秀夫 ・事例発表から考える、アスペルガー症候群（自閉症含む）の特性に合わせた指導 ・児童指導例（指導で学べた「待てる」「聞ける」「動作習得」の成果発表） ・成人の指導例（地域クラブや施設でのエアロビック指導の成果と課題） ・パネルディスカッション「指導者と親と本人と考えるエアロビック指導法」

回数	日付	テーマ
第15回	2013年 11月17日	<p>第15回 全国アダプテッドエアロビック シンポジウム</p> <p>◆テーマ：「エアロビックって本当に楽しい？」～ 神経生理学で心を覗く ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアロビックレッスン中の自律神経機能計測～情動評価への応用～ 明治大学 理工学部 電気電子生命学科 嶋田 総太郎 ・自閉症スペクトラム（ASD）の人の特性について 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 社会福祉学科 岸川 学
第16回	2014年 12月7日	<p>第16回 全国アダプテッドエアロビック シンポジウム</p> <p>◆テーマ：「エアロビックで生き涯づくり」</p> <p>～ 発達障害者の想い、取り巻く環境と自立への道 ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労とエアロビック 箕島 ・ラポール事業とエアロビック 宮澤 ・事例発表／教育現場と余暇活動に役立つエアロビック 福島県立養護学校郡山分校 丹野 好江／奈良県立大淀養護学校 菊川 勉
第17回	2015年 12月6日	<p>第17回 全国アダプテッドエアロビック シンポジウム</p> <p>主催：KAF 共催：JAAC</p> <p>◆テーマ：発達障害（知的障害を含む）児・者の特性と効果的な対応方法とは 「エアロビックが有効な“心理的活動拠点”となるには」 ～みんながエアロビックに求めること～</p>
第18回	2016年 11月18日	<p>第18回 全国アダプテッドエアロビック シンポジウム</p> <p>主催：KAF 共催：JAAC</p> <p>◆テーマ：高齢者がエアロビックを楽しむには ～歯の咬み合わせと身体機能と心理機能の関係性/運動が脳に及ぼす効果～</p>
第19回	2017年 12月24日	<p>第19回 全国アダプテッドエアロビック シンポジウム</p> <p>主催：KAF 共催：JAAC</p> <p>◆精神障害のある方への理解と関わり ～音楽療法を通して、エアロビックの楽しみ方を考える～</p>
第20回	2018年 12月23日	<p>第20回 全国アダプテッドエアロビック シンポジウム</p> <p>主催：KAF 共催：JAAC</p> <p>◆テーマ：スローエアロビックでアダプテッドエアロビック・プログラムづくり ・スローエアロビックで障害のある方が楽しむには</p>

第 21 回 2019 年

・アダプテッドエアロビックの動きについて
・楽曲づくりと障害者の方への指導の工夫について
・アダプテッドエアロビック・プログラム（実技）
第 21 回 全国アダプテッドエアロビック シンポジウム

主催：JAAC

12 月 15 日

◆テーマ：スローエアロビックと睡眠について